コースコード：EC-CASEJ
税込価格：250,800円 (税抜価格：228,000円)
日数：2日間

---

## トレーニング内容

CASE Java (認定アプリケーションセキュリティエンジニア - Java) は、Javaのセキュリティ機能、セキュリティポリシー、長所と短所などを幅広く学習することができるトレーニングです。
開発者が、安全で堅牢なJavaアプリケーションのプログラムの書き方を理解する手助けをするとともに、悪意とバグのあるコードを効果的に阻止できる、Javaのセキュア開発の様々な側面に関する知識を提供します。
セキュリティに配慮してJavaコーディングを行うことで、貴重な労力、資金、時間を使わなくてすみ、場合によっては、Javaアプリケーションを使う組織の評判を落とす心配もなくなります。

## ここに注目!!

## ワンポイントアドバイス

## 受講対象者

このコースの受講対象者は次の通りです。

・Windows/WebベースのセキュアアプリケーションをJavaの設計、構築を担うプログラマ、エンジニア
・Javaアプリケーションの開発に携わるエンジニア

## 前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・プログラミング言語Javaを理解していること (ORACLE 認定資格Java Silver相当の知識を有する方)

## 目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

・セキュア開発ライフサイクルに目を向け、セキュアアプリケーションを一から築き上げていくことが求められている現状をきちんと理解できる
・プログラミングの基本的なスキルにとどまらず、ソフトウェア開発ライフサイクル全体に適用できる、確かなプロセスと手法を身につけることができる
・セキュアコーディングのベストプラクティスに従わないとどのような結果を招く恐れがあるかを説明できる

## アウトライン

セキュアソフトウェア開発

エラー処理とロギング

認証と承認

Javaセキュリティ概論

入力チェック

Javaの並行処理 / セッション管理

Java暗号化

ファイルの入出力とシリアライズ

JAAS

Javaアプリケーションの脆弱性